

# 夢窓幼稚園通信第57号

2019年 11月 29日

日が暮れるのが ずいぶん早くなりました。  
そして 朝 ながかなか おひさまが 昇ってきません。  
昼が長い季節と夜が長い季節とでは、ずいぶん気分も違うものですが、子どもたちの遊びの多様さはいつでも お見事です。

お化けや、ネコになって遊んでいます。  
チョコレート工場のシステムは分業で、出来上がりは上等です。  
回転寿司屋さんもクッキー屋さんも繁盛です。  
10人を超える化石の採掘団は、みんなスコップなどを片手に恐竜の脚跡を探し合っていましたよ。

ピンクバッチさんが何人かはいり、いろいろ声をかけたり手助けしているお兄さん、お姉さんの姿をよく見かけます。

たくさん遊び、そしてクリスマスに向けていろいろなことを思いめぐらすことでしょう。

「この世を生き」そして「宇宙を感じ」です。

谷川俊太郎さんは こんな風 に表現しています。

人間とは、家族や勤め先、国の中に生きる「社会内存在としての自分」と、宇宙の中の惑星である地球に住む「宇宙内存在としての自分」が溶け合った存在。  
詩を書く時、自然とその両方を行き来しちやいますね。

クリスマスに向かうとき そんなことを、そんな自分たちをおぼえて強く感じます。

不思議にも私の中の古いものが 新たに生まれたものの力で 生き生きと甦りはじめる。

それは宇宙の力を目覚めさせ、その力を私の人生のこの世の仕事の中に流しこむ。

そしてますます力強く  
私は存在界の中に刻印づける。

R.シュタイン「魂の層」11月24日～30日

厳しい時代だからこそ、よろこびあふれるクリスマスと共に迎えましょう！

園長 升光 泰雄